

<ミニコラム>

この聖火ランナーは、本物？それとも？

- 1) 2021年7月の東京五輪の開催は不可能！私は、新型コロナウイルスがパンデミック化した昨年2月から明確にそう予言していた。そんな私だが、2019年6月には、近く重要文化財に指定される見込みの建築家・丹下健三設計にかかる代々木の（旧）国立競技場で「近代オリンピック100年・思い出の東京オリンピック1964」を見学した。
- 2) 当時高1だった私は、故郷・松山の自宅の小さな白黒テレビで、①序盤ではメダラッシュとなった重量挙げとレスリングに夢中になり、②中盤では男子体操の力強さに魅了され、③終盤ではマラソンでエチオピアのアベベに敗退する君原健二、寺沢徹、円谷幸吉と、オランダのヘーシングに敗退する柔道の無差別級の神永昭夫の姿に悔しがり、④最後には、女子バレーでの大松博文監督率いる「東洋の魔女」の金メダル獲得に熱狂した。
- 3) コロナ禍での聖火ランナーは各地で苦勞したようだが、プライベートな聖火ランナー（？）なら何でもOK！？2021年の夏は、是非、こんな『シネマ48』の読破を！

2021年5月25日記

